

# 経営比較分析表（令和2年度決算）

香川県綾川町 綾川町国民健康保険陶病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	50床以上～100床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	9	対象	透訓	臨へ
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
23,812	6,157	第2種該当	-	10:1

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
35	28	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	63
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
35	28	63

**グラフ凡例**

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 令和2年度全国平均

公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

## I 地域において担っている役割

主軸とする回復期から在宅医療、介護まで、患者の状況に応じた療養環境で適切な医療が受けられるように、地域包括ケアシステムの構築を目指し、地域の医療機関、訪問看護ステーション、薬局、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所等との連携強化を図りながら、多職種・多機関による「顔の見えるネットワークづくり」に努め、地域連携拠点病院として「安心・安全のまちづくり」に貢献している。また、地域での保健事業へも各分野の職員を積極的に派遣している。

## II 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

近年は経常収支率は100%を超え、黒字運営ができています。令和元年度に一般病床から一部転換した地域包括ケア病棟を令和2年度にも増床し、経営面においてより合理化を行ってきた。また、多方面で諸経費の値上がりが続く中、各部門における削減努力で経費も抑制されている。医師確保については毎年苦慮しており、香川医大、県立病院等に派遣をしていただいている状況である。附帯事業では特に訪問看護、通所リハ事業の利用者が増え収益が増加している。今後も病院と一体となった在宅サービス提供等に力を入れ、ニーズに合った地域サービスの提供に努めたい。

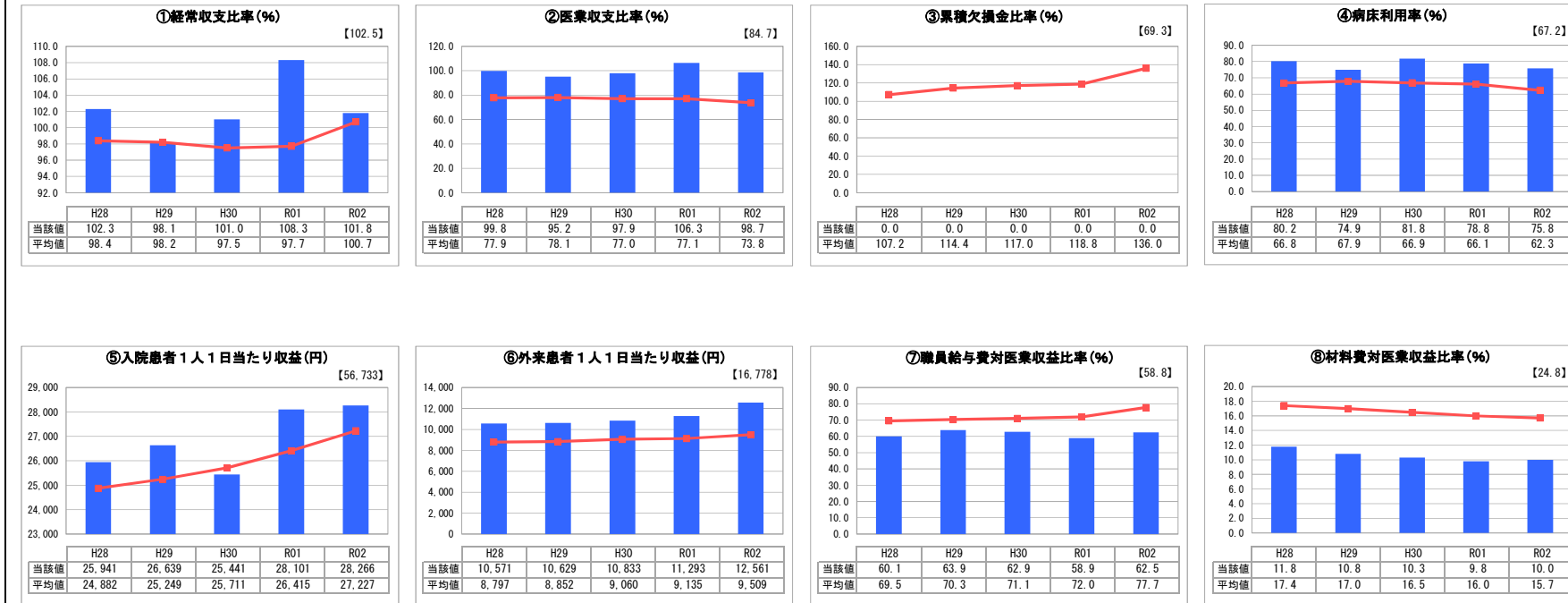
### 2. 老朽化の状況について

平成16年に改築され18年が経過した。減価償却率が66.0%となり、類似病院との比較において比率が上回ってきた。施設は重大な問題がなく稼働しているものの、各種修繕費が増加してきている。器械類の更新が必要となってきているため、計画的に適切な更新を予定している。施設設備についても施設長寿命化計画を元に修繕を行っていく予定である。一床当たりの有形固定資産については、地域医療の拠点としてCT、MRIなどの検査機器を保有しており、63床と病床数が少ないことから類似病院（50床～100床）と比較すると高額となっているが、今後も機器レベルは落とさず更新を行っていく予定である。

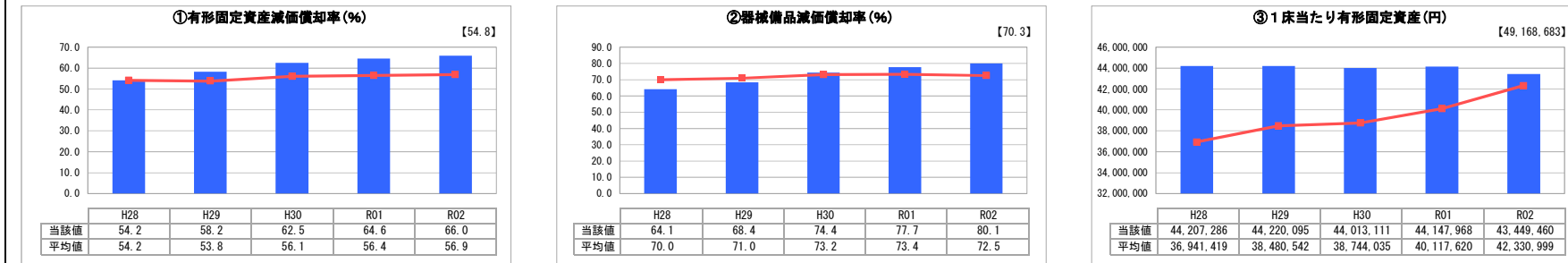
### 全体総括

経常収支が黒字に転じたが、減価償却が終了する設備・器械が増え、更新についての計画性が求められる。また、今後策定が要請されるであろう「公立病院改革ガイドライン」に沿った新たな改革プランを策定するまでの間、平成29年3月に策定した「綾川町国民健康保険陶病院新改革プラン」に基づき、香川県における地域医療構想調整会議において個々の医療機関の機能分化・連携を促進するための協議を踏まえ、今後の病院経営を随時見直ししていく必要がある。今後も公立病院の役割を担い、高齢化が進む社会の中で住民の求める医療を適切に提供していく体制を整え、健康で安心して暮らせる町づくりに貢献していく。

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。